

# 第1回会議の概要まとめ

## 全体／横断的課題

- 街を作るのは行政ではなく区民。どうしたいかの視点を持ち議論すべき。
- 4基本の方針をどう実現していくか、課題に目を向け議論すべき。
- よい施策を展開しているが、活用状況の確認が必要。
- 各種施策を展開しているが費用対効果が悪い。
- 民間と行政の役割を区別し、行政しかできないことをやるべき。
- 伸びているところを更に伸ばす取組も一つ。
- 多様な人材が移動することで地域が活性化するとよい。
- 施策を広く行き渡らせるPRが課題。
- 広報・PRが苦手であるため、行政と連携して力を入れていきたい。

## 取り巻く状況等

- 経済状況や産業構造をポジティブに捉えていいのではない。
- 担い手不足や匂い、音など含めて、工業を行う環境は厳しくなっている。
- 農業は後継者不足や農地の減少など課題。生産量の関係もあり加工品製造なども厳しい状況。

## 交流・プラットフォーム・マッチング

- 職住近接が進み、地元に対する意識は向上。サードプレイスでの交流などもう一つ何かが必要。
- 地元につながりのない人が孤立。受け皿が認知されていない。コミュニティに入れる何かが必要。
- 地域のプレイヤー増加。地域との接点を増やす取組や機会が有効。
- Z世代の街づくりへの参画が必要であり、世代間の対話の場が必要。
- 課題に対するコミュニケーションの活性化が大事。
- 多様な人が参画でき、特徴を活かした取組ができるとよい。
- つながりが面になっていない。能力ある人同士の繋がりが創出されていない。
- 地域の人が参画できるイベントにより、コミュニケーションという商店街の特徴が活かせる。
- プラットフォームを形成し、新たな取組を可視化し推進するとよい。
- 多様なソーシャルセクターや人材・企業の異業種交流を通じてイノベーション、街の活性化を図るべき。
- 課題とスキルのマッチングを図る交流会のようなものがコラボレーションにつながっていく。
- 事業承継などマッチングのやり方を検討する必要があるのでは。

## 人材活用

- 人的資本経営の観点必要。区内の人材を活かした取組の推進。
- 世田谷の人材のスキル高い。紹介、コラボの促進などで、街に還元できる仕組みができないか。
- DX支援人材などは、区内完結のみならず、全国の人材の活用の視点も必要。橋渡し支援もできるとよい。
- IT人材等を個別に揃えるのは難しい。行政で揃え地域で支援するのがよいのでは。

## 街づくり的視点

- 地域の特徴づけを行い、魅力を明確に発信した方が産業集積や起業の観点からも動機付けになる。
- 地域毎の方向性を出し、企業集積する流れを作り、対話が進むよう旗振りしてはどうか。
- 歩行者にやさしい街づくりを目指すことで商店街活性化や暮らしやすさが実現する。
- ウォーカブルな街づくりがポイント。歩き体感できることが世田谷のよい点。

## 新たな取組

- 社会課題に関する実験的予算にて新しい産業化の基盤を構築しては。
- 街の人から投資を集める仕組み（ex地域証券取引所等）を構築し、地域循環の加速を図れないか。
- 多様な働き方が広がるとトラブルも増える。セーフティネット的なものの構築が必要。
- 工業と地産地消できるものの協力なども考えていく必要がある。

## SDGs

- SDGs等に繋がる小さな取組を地域の人と企業で行いコレクティブイノベーション外につながることを実感できるとよい。
- SDGsは認知よりも、活用していくことが必要。
- 公共事業などにおいては、SDGs等に取り組む企業が選ばれる仕組みなどを構築してはどうか。
- SDGs等に取り組む必要性の認識高める必要あり。利益に繋がる認識を持てる取組を行うべきでは。